



2025
令和7年

1

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市政策室へ

発行●**狛江市政策室**
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp
編集・制作●特定非営利活動法人**k-press**
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net

深まる地域住民との交流

「相互敬愛」「自主自律」「意志と実践」を教育目標に

狛江第二中学校は、昭和42年に狛江中学校（現・狛江第一中学校）から分かれ、生徒数379人で開校した。学区となった小田急線の南側は公共施設が少なかったため、学校施設が地域のイベントなどで使われることも多く、地域住民との結びつきが強いのも特色。現在も、生徒たちが祭りなど地域のイベントに参加して交流を深めている。

「意志と実践」を教育目標に「生徒一人ひとりが目を輝かせ、何事に対しても前向きに活動できる学校」を目指している。



校舎と現在の「三本の樹」（階段左側）

●**三本の樹**●正門近くにある大王松、ヒマラヤ杉、メタセコイヤは、大八木敏夫初代校長が開校時に話した「『やる気』、『勇気』、『根気』の3つの『き』を大きく育ててほしい」という言葉を表すため、第1回卒業記念として植えられた。その後、台風などで倒れたヒマラヤ杉は植え替えたものの、同校のシンボルとして守り継がれている。

●**生徒会**●自主性を育てコミュニケーションを深める教育の一環。全校生徒が参加する総会を開くなど積極的に活動しており、生徒アンケートを基に教師と話し合って校則の変更を行うなどの

実績がある。令和7年度から新しくなる標準服の選定にも生徒会の意見が反映された。

●**道徳授業地区公開講座**●学校と家庭、地域社会が一体となり子どもたちの豊かな心を育み、学校での道徳教育の充実を図ることを目的に開催。10月にシンガーソングライター大野靖之さんの歌を取り上げて教室で授業をした後、大野さんが体育館でギターとピアノの演奏を交えて生徒や保護者に講演した。

●**ゲストティーチャーの授業**●その道のプロによる授業で、10月に



新しい標準服



演奏する大野さん



▷10◁

狛江第二中学校

猪方2-7-1
植村多岐校長、教職員42人、生徒11学級412人、卒業生10,813人
敷地15,829㎡、鉄筋コンクリート造り4階建て（普通教室11室、特別教室24室）



（10月1日現在）
植村校長プロフィール▶昭和61年の町田市立中学校を皮切りに小金井市、稲城市など多摩地区に勤務。平成23年に狛江第一中学校副校長、狛江第四中学校副校長を経て30年に福生市立中学校の校長になり、令和6年から狛江第二中学校校長を務める。



オペラのバリトン歌手清水一成さんが全校生徒に発声法などを具体的なアドバイスを交えて指導した。同校では生徒同士のまとまりをつくるため学年合唱を行っており、10月の合唱祭などでも発表する。



合唱指導をする清水さん

●**部活動**●**運動部**＝野球部（他校と合同）、サッカー部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、女子硬式テニス部、女子バドミントン部。文化部＝吹奏楽部、美術部、合唱・箏曲部、科学部。
生徒の約9割が活動し、加入率が高い。

男子バレーボール部は市内では二中にしかなく「闘志、心、集中力」をモットーに部員43人が所属している。令和5年度の東京都中学校総合体育大会でベスト8、今年度はベスト16に入った。



男子バレーボール部

吹奏楽部は部員32人が所属、明るく聴衆を盛り上げる曲やアンサンブルを得意とし、地域センターや白幡菅原神社の祭礼などで演奏している。今年度、東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門で銀賞を獲得した。



吹奏楽部

合唱・箏曲部は部員12人が「しっかりと楽しく」をモットーに合唱と箏曲の練習に励み、NHK合唱コンクール出場を目標にしている。南部地域センターのコンサートに出演するほか、秋に吹奏楽部との合同発表会を開いている。



合唱・箏曲部

美術部は25人の部員が水彩、鉛筆、砂絵など好きな画材で自由に創作に取り組んでいる。白幡菅原神社の祭礼には行灯60点余りを学校前の道路などに展示する。長期休業中には美術館などの見学を行っている。



美術部

●**アリーナ**●平成23年に体育館、武道場、市内の中学校初の屋上プールなどを備えたアリーナが完成した。屋上プールは夏休みに市民に開放されている。



アリーナの屋上プール

○**狛江第二中学校おやじの会**＝平成6年に設立、OBを含めて約60人が活動している。父親（母親も）同士がゆるくつながり、体育祭など学校行事の手伝いやPTA活動に加え、多摩川清掃やスポレクなどを獲得した。

.....わたしの二中

動きやすくきれいなアリーナ
生徒会役員・2年生＝秋山雪華、麻生一香、松本伊織、濱田瑛久、1年生＝松岡頼音、山本百夏、岡田珠里（敬称略・写真）

好きな場所＝すごくきれいな景色が見え、いつも過ごしやすい教室。体育の授業や部活動で使っていて、走りやすく動きやすい、きれいなアリーナ。広々としていて周りに木が生えており、ジブリ感がある広々として暖かくて気持ちいい校庭。



アリーナ入口で



いかだレースに出場したおやじの会

地域行事の支援、第二育成委員会主催の「かがく実験屋台村」への協力などを通じて価値あるネットワークを形成している。古代カップ多摩川いかだレースに積極的に参加。昨夏は出場した3艇が全て総合10位以内に入り、学生の部と市内学校対抗で優勝するなど好成績を収めた。

.....元・二中生から
中学生の今を存分に楽しんで

横浜DeNAベイスターズ
勝又温史さん

狛江二中は、狛江六小と狛江三小から多くの生徒が進学する中学校で、新しい友達がたくさん増えた事がとてもうれしかったのを覚えています。私の中学校生活は、楽しくも勉強に苦しんだ学校生活になりました。ですが、負けずにあの時いろんな方に支えて頂きながら頑張れたからこそ、今がとても充実した毎日になっていると思います。



皆さんも楽しい事、苦しい事、たくさんあると思いますが、二度と戻ってこない中学生という今を存分に楽しんでください。

〈プロフィール〉平成12年生まれ。狛江第六小学校、狛江第二中学校卒業。狛江では「狛江ロッキーズ」、「狛江ボーイズ」に所属した。30年に日本大学鶴ヶ丘高等学校卒業後、横浜DeNAベイスターズ入団。背番号28。右投げ左打ち。入団後、投手から外野手に転向した。